老朽化した水路

町政を問う！

一般質問

9月定例会での一般質問は14人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆（要約）したものを掲載しています。

（※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます）

渇水対策に農業用水路の整備補助率アップを

補助率は現行、既存制度の活用を促進します

東垣（ひがしがき） 典雄（のりお） 議員

今年の梅雨明けは早く、6月末から7月中は、まとまった雨が降らず酷暑の上に干ばつになり、水路に水が乗らず渇水になった地域がみられた。

水不足の時ほど水路の整備が必要と感じる。

令和元年度から令和3年度に水利関係について、3年間に限り補助率を55％から75％にアップしている。

今、水田農業の維持のため、農地の集約化をすすめるため、水利関係補助率のアップを求める。

町長 農道や水路は農業農村にとって不可欠な生産基盤であり整備は重要と考えています。

特例として3年間補助率を55％以内から75％以内として補助金を交付しました。

特例補助機関3年間の交付実績は、水路の修繕ほか35件、補助金4307万円の交付を行いました。

特例の期間で喫緊の整備と改修は果たせていると捉えています。

このことから補助率のアップはせず、既存制度を活用していただくよう促進をはかります。